

緑の風

Midori no Kaze



岡山ろうさい病院
Okayama Rosai Hospital

第79号

春



呼吸器内科の紹介

呼吸器内科 小崎 晋司

今回は呼吸器内科の紹介をさせていただきます。

今年度の呼吸器内科のスタッフは常勤医として小崎晋司、藤本伸一（腫瘍内科兼任）、田中寿明、三宅剛平、藤岡佑輔、太田萌子、大西史恵、大西桐子の8名で診療にあたっております。昨年着任した三宅剛平は呼吸器内科の専門医以外に膠原病の専門医をもっており、間質性肺炎に合併することのある膠原病に対する診断、治療が強化されています。主な診療内容は肺がん・悪性胸膜中皮腫・間質性肺炎・COPD（慢性閉塞性肺疾患）・気管支喘息・睡眠時無呼吸症候群などです。その中で、肺がん、気管支喘息に関しての診療内容をご紹介します。

○肺がん

肺がんの診断については、ガイドシース併用気管支内超音波断層法（EBUS-GS）や超音波ガイド下経気管支針生検（EBUS-TBNA）などを併用した気管支鏡を行って診断精度を上げる努力を続けております。超音波を利用して腫瘍やリンパ節を描出した上で生検を行うもので、これにより腫瘍のある部位を正確に採取することができます。

肺がんはアスベストや塵肺の関連で労災認定されることも多く、漏れのない申請を行うべく、詳細な職業歴の確認や生活状態の確認も気を付けております。職業性のみならず環境曝露でも公費負担の適応になることもあり、認定されれば患者さまの療養の費用面での不安を和らげることができます。

治療に関してですが、近年肺がんは遺伝子変異があるがんに特異的に作用する薬剤や免疫に作用して効果を表す新規の薬剤が次々に使用できるようになってきており、常に最新の検査や治療を行う必要があります。日々治療法が変わっている中でも使用可能となった薬剤を早期に使用できるようガイドラインや論文などを早期にチェックして、遅れのない治療を行っています。

○気管支喘息



気管支喘息といえば以前は発作による死亡もまれではない疾患であったのですが、近年はステロイドを含む吸入薬が種々使用できるようになり、喘息死や発作による入院などが激減しております。当院でも患者さまの状態に合わせて吸入薬を調整し、最良のコントロールが得られるように診療しております。ただ、吸入薬や内服薬での治療によってもコントロール困難な方が一定数いらっしゃるのも事実です。これらの難治性の気管支喘息に対して最近注射薬での生物学的製剤が使用可能となり、患者さまの併存疾患や血液データなどから現在投与可能な5種類の薬剤のなかから最良の薬剤を選択して治療を行っております。これらの薬剤はいずれも高価なのですが、治療効果は非常によいことが多く、副作用の多いステロイドホルモンの内服をたびたび必要としていた難治性喘息の患者さまにも喜ばれております。

最後に肺がんや慢性呼吸不全などは最良の治療を行っても、死亡が避けられないことが多い疾患です。日本では圧倒的に病院で死亡する方が多いのですが、元気な時にお話しをするとやはり最期は自宅で迎えたいと考えている人が多いとされています。当科では終末期をむかえつつある方にどのような形での医療ケアや最期を希望するのかについて、患者さま自身やご家族も含めて相談し、患者さまの意思に沿った形での旅立ちを支援したいと考えています。アドバンス・ケア・プランニングといわれるものですが、人生が有限であることを踏まえて自分の最後は自身も家族も納得した形で迎えたいと思われるのならば私たちに相談いただければと思います。医師・看護師・ソーシャルワーカー・訪問診療医など多職種での支援が可能です。

治癒を目指す疾患から難治性の病態まで丁寧な診療を行って患者さまに最善の医療を行ってまいりますので、今後とも呼吸器内科をよろしく願いいたします。

呼吸器内科・呼吸器外科合同カンファレンスより



病院の理念

地域の人々に最適の医療を提供し、働く人の健康を守ります。

病院の基本方針

1. 患者の権利を尊重し、尊厳を守ります。
2. 地域の中核病院として、安心・安全に最適な医療を提供します。
3. 治療と就労の両立支援を推進します。

患者の権利について

- 1 良質な医療を平等に受ける権利
- 2 十分に理解できるまで説明を受ける権利
- 3 医療行為を選択あるいは拒否する権利
- 4 診療に関する自己の記録などの情報を得る権利
- 5 個人情報保護される権利
- 6 セカンドオピニオンを求める権利
- 7 小児患者が幸せに生き、守られ、育つ権利

患者の責務について

- 1 自分の症状について、必要なことを正確に伝えてください。
- 2 診療上の必要な指示は守ってください。
- 3 医師・看護師をはじめ職員の指示に従ってください。
- 4 病院内の快適な医療環境の維持にご協力ください。
- 5 病院内での飲酒、喫煙は禁止します。
- 6 職員に暴力・暴言など行った場合は院外に退去していただくことがあります。
- 7 新興感染症の流行を踏まえ、マスク着用・手洗いなどの標準感染症予防対策にご協力ください。

呼吸器外科の紹介

胸部外科 葉山 牧夫

令和6年9月に着任してからは、私が中心となり呼吸器外科手術を担当しております。これまでにさまざまな施設で身につけました手術や術後管理の経験を生かして、個々の状態に応じたきめ細やかな医療を提供できるように心がけていきます。

呼吸器外科では主に肺がん、気胸（肺に穴が開く病気）、膿胸（胸の中に膿がたまる病気）、縦隔腫瘍など、肺とその周囲の疾患（心臓と食道以外）を扱っています。

以前は大きく胸を開いて手術をすることも多かったのですが、近年は胸腔鏡を使って小さな傷で手術をすることがほとんどです。疾患や患者の状態に応じて下記の写真のように3-4cm程度の創1か所で手術を行うこともあります。

高齢者の肺がん手術

「人生100年時代」とも言われますが、肺がん患者における高齢者の割合も増加しています。全国規模の調査における2021年のデータでは肺がん手術を受ける方の約15%が80歳以上で、2024年の当院のデータでは、約22%が80歳以上です。

手術を受けていただくかどうかは、まず、「肺癌診療ガイドライン」をもとに呼吸器内科とのカンファレンスでの話し合いで決めますが、その上で外科の外来に来ていただきます。

その際、呼吸機能検査や心臓の検査なども参考にしますが、日頃の活動状況などの話を詳しくお聞きして、手術を受けていただくかを決めています。

手術が決まれば、薬剤指導、呼吸器リハビリ、口腔ケアなど様々な面から安全に手術を受けていただけるようにサポートします。喫煙している方であれば、必ず禁煙していただくように指導しています。肺がん手術は不適と判断した場合でも、放射線治療を提案できることが少なくありませんので治療の手段は残されています。高齢だからという理由で最初から治療をあきらめることをせずに、遠慮なく相談してください。



手術をより安全に受けていただくために



禁煙



適度な運動



口腔ケア



健康診断科の紹介

女性のための総合外来 田端 りか

当院では、皆様と皆様の家族が健康で快適な生活を過ごされるため、各種の人間ドック、生活習慣病健診、がん検診、雇入れ時健診、職場などでの定期健康診断、粉塵業務や石綿・特定化学物質・有機溶剤などを取り扱った労働者に対する特殊健診など、多種多様な健康診断を行っており、年間の健診受診者数は7500例を超えています。

人間ドックでは、一般的なドックのほかに、脳ドック、脳循環器ドック、レディースドック、高齢者を対象としたフレイルドックなどのコースがあり、いずれも予約制になっています。また、発見が難しく予後不良として問題になっている膵臓がんに関する検査も2025年4月からオプションで選択可能となっています。

そのうえ、当院ならではの特殊健診では毎年約3000例の受診があります。粉塵業務による塵肺健診や石綿健診は、一次健診のみならず二次健診まで対応しており、アスベスト疾患ブロックセンターや職業性呼吸器センターとも連携して、多くの実績を重ねています。ここ数年対象となっている化学物質が増加している特定化学物質健診も、一部の物質を除き対応可能です。

当院での健康診断は完全予約制となっており、電話、メール、Faxで予約をお取りしています。また、当院のホームページからもお申込みいただけます。



健康診断科 電話受付時間

月曜日～金曜日 12:00～16:00

TEL : 086-262-0131 (代表)

FAX : 086-261-7708

Mail : kenshin@okayamah.johas.go.jp

医事課からのお知らせ

使いましょう 「マイナ保険証」

当院では、マイナンバーカードを利用した「オンライン資格確認システム」を使用し、既に多くの患者様にご利用いただいております。(マイナンバーカードのカードリーダーは、総合受付初診窓口にあります。)

現在、国は現行の健康保険証を2024年12月に廃止し保険証の新規発行をやめ、マイナンバーカードと健康保険証が一体となった「マイナ保険証」への移行を推奨しています。

改めて、「オンライン資格確認のメリット」を記載しますので、まだ利用されていない患者様はぜひご利用ください。

【オンライン資格確認のメリット】

- ①マイナンバーカードが健康保険証として利用できます。
→あらかじめ「マイナポータル」で保険証利用の申し込みが必要です。
- ②医療保険資格確認が正確になります。
→オンラインで医療保険の加入状況を正確に確認できるため、受付対応がスムーズになります。
- ③限度額適用認定証の申し込みと提示が不要となります。
→別途、保険者に申請が不要になります。
- ④健康管理や医療の質が向上します。
→マイナポータルでご自身の薬剤情報や、令和2年度以降に受診した特定健診情報を当院の医師が確認することができます。

※ご不明な点は、総合受付にお声掛けください。

病院からのお知らせ

ボランティア募集

始めてみませんか？病院ボランティア

『患者さんのために』とお考えの方なら誰でも参加できます。特別な資格などは必要ありませんので、興味のある方や活動ご希望の方はお気軽にご連絡ください。

参加条件

- ・病院ボランティアの趣旨に賛同し、協力的に活動して下さる人
- ・活動の時間等約束が守れる人

募集期間

通年

活動日時

月曜日から金曜日の9:00~11:45(祝祭日を除く)のうちご自身の都合のいい日時で別途相談

活動場所

岡山ろうさい病院

主な活動内容

- ・外来での患者さんへの援助活動(院内への案内・受付援助・車椅子の介護ほか)
- ・院内での環境整備活動 ほか



ボランティア研修あり
交通費支給あり
健康診断や予防接種を
当院で受ける
ことができます



申込方法

電話またはメール
連絡先 shomu2@okayamah.johas.go.jp
086-262-0131 (総務課)

看護師(正規)募集

詳しくは病院ホームページをご確認ください。

